

保育所について

保育目標

- 仲間を思いやる気持ちを持ち、自分は自分でいいと思える子ども
- 思いを自分なりに表現できる子ども
- 主体的に考え、自分らしく伸び伸びと行動する子ども

保育について

【0～2歳児（乳児）～育児担当保育～】

子どもにとって、食事や排泄は生活の中心となる大切な時間です。育児担当保育では、基本的にいつも決まった保育士が行うことで、子どもは「自分のことを見てくれる人がいる」と感じ、安心して過ごすことができます。

また、悲しい時や不安な時に「自分は誰のところにいけばいいのか」が明確になり、心の拠り所ができます。この安心感が、将来的に深い人間関係を築く力や、人を信頼する力につながっていきます。

【3～5歳児（幼児）～異年齢保育～】

3歳児から5歳児で同じ場所で過ごすことにより、「憧れ」が子どもたちの成長を後押ししています。年長児の姿をみて、「自分もやってみたい」という気持ちが、3歳児・4歳児の遊びの幅を広げ、意欲へとつながっています。

また、家庭とは違う立場を経験できることも、異年齢保育の魅力です。家ではお兄さん、お姉さんでも、保育所では末っ子になるなど、その逆の立場を経験することで、新しい学びや成長の機会がうまれます。

保育士職員情報

20～30代：約21%

40～50代：約44%

60歳以上：約35%

※正規職員含む。（令和7年3月1日現在）

所長から一言

第二保育所

子どもたちとじっくりと向き合いながら日々の保育での時間を過ごしています。一人ひとりが成長していく芽を大切にし、一緒に育てていきませんか？

第四保育所

毎日子どもたちに囲まれながら、成長を身近に感じ、保護者とともに喜びを分かち合えるのが、わたしたちの職場の魅力です。職員の年齢層はさまざまですが、温かい雰囲気の中で楽しく働くことができる環境が整っています。

子どもたちの笑顔に囲まれながら、やりがいのある仕事を一緒にしませんか？ぜひ、町立保育所の仲間になってください！

職員の声



○40代、保育士、町立保育所での勤務1年目

一人ひとりの子どもとゆったりと関わることができる、子ども主体の保育を大切にしています。

職場の風通しが良く、熱意のある保育士が多いため、日々の保育の悩みや働き方についても気軽に相談できる環境です。

また、子育てと仕事を両立している職員も多く、お互いに支え合いながら安心して働ける環境です。



○30代、保育士、町立保育所での勤務7年目

子どもが主体となってあそぶためにどうすれば良いのか、常に職員同士で話し合っています。子どもたちを大切にできる環境です。



○30代、保育士、町立保育所での勤務11年目

島本の豊かな自然のなか、のびのびと子どもたちと日々、楽しく過ごしながら成長を見守り、自分自身も成長できる素敵な職場です。

困ったことがあれば、まわりの先生方がサポートしてくださったり、育児中の事情にも理解があったりと働きやすいです。